

マイナポイントの申し込み期限が迫っています

問 経営企画課政策推進係 ☎95-9865

マイナポイントの申し込み期限は2023年2月末です。マイナンバーカードを持っていて、マイナポイントの申し込みをしていない人は、この機会を逃さず是非マイナポイント申請をしてください。

※マイナポイント第1弾で「マイナンバーカードの新規取得等で最大5,000円分」を受け取った人も第2弾の「健康保険証としての申し込みで7,500円分」+「公金受取口座登録で7,500円分」を受け取ることが可能です。

▼申請方法

- ・スマートフォンで右の二次元コードから申請
- ・以下の会場で申請



▼会場

- ・市役所1階マイナポイント特設窓口（平日8時30分～17時）
- ・新川公民館（火曜日～金曜日（祝日を除く）9時～16時）
- ・大浜公民館（火曜日～金曜日（祝日を除く）9時～16時）

▼必要なもの

- ①マイナンバーカード（数字4桁の暗証番号が必要）
- ②銀行通帳（本人名義）
- ③電子決済サービス

※電子決済サービスの種類は右の二次元コードから確認してください。



マイナポイント 最大20,000円分の
マイナポイントがもらえる！

マイナンバーカードの 新規取得等で 最大5,000円分	+	健康保険証としての 利用申込みで 7,500円分	+	公金受取口座の登録で 7,500円分
-----------------------------------	---	--------------------------------	---	-----------------------

ふるさと納税 通信

碧南ウイスキー、70年ぶりに復活

問 経営企画課ふるさと応援係 ☎95-9866

今号では、相生ユニビオ㈱碧南蒸留所を紹介します。

昨年、70年ぶりに復活した碧南産ウイスキー「一碧（いっぺき）」について伺いました。



弊社では、1949年からわずか4年だけウイスキーづくりが行われていました。伊勢湾台風などの自然災害により、操業停止まで追い込まれた自社蒸留が、70年の時を経て再開し、碧南産のウイスキーが、2022年に復活しました。蒸留所の存在を全国的に認知してもらうことのほか、寄付金の一部が市に還元される仕組みから、同年11月にふるさと納税に提供を開始しました。将来的には原料を全て地元産のものを使用し、市内飲食店でも楽しんでもらえるような流通ができればと期待を膨らませています。

「一碧」には「碧南市」と「唯一無二のお酒」という意味が込められています。洋酒が流行していない戦後の時代に生きた、先人たちの好奇心・探求心、ウイスキーに対する情熱が現代に受け継がれ、完成したウイスキーです。苦難の連続だった碧南産ウイスキー復活の道のりを市ホームページで紹介しています。

